

ひとり親家庭等の支援について



1

浜松市こども家庭部 子育て支援課

目次

- 1 浜松市の概要
- 2 浜松市の組織
- 3 子ども・若者支援プラン
(ひとり親家庭等自立促進計画)
- 4 ひとり親家庭等福祉対策事業
- 5 その他ひとり親家庭等への支援

1 浜松市の概要

世帯数・人口

| | 世帯数(世帯) | 人口(人) |
|---------|---------|---------|
| H27.4.1 | 325,619 | 808,959 |
| H31.4.1 | 338,411 | 802,728 |
| 増減 | 12,792 | 6,231 |

(浜松市世帯別人口一覽)

離婚件数

| | 離婚(件) |
|------|-------|
| H27年 | 1,269 |
| H29年 | 1,286 |
| 増減 | 17 |

(浜松市統計書)

児童扶養手当受給者数

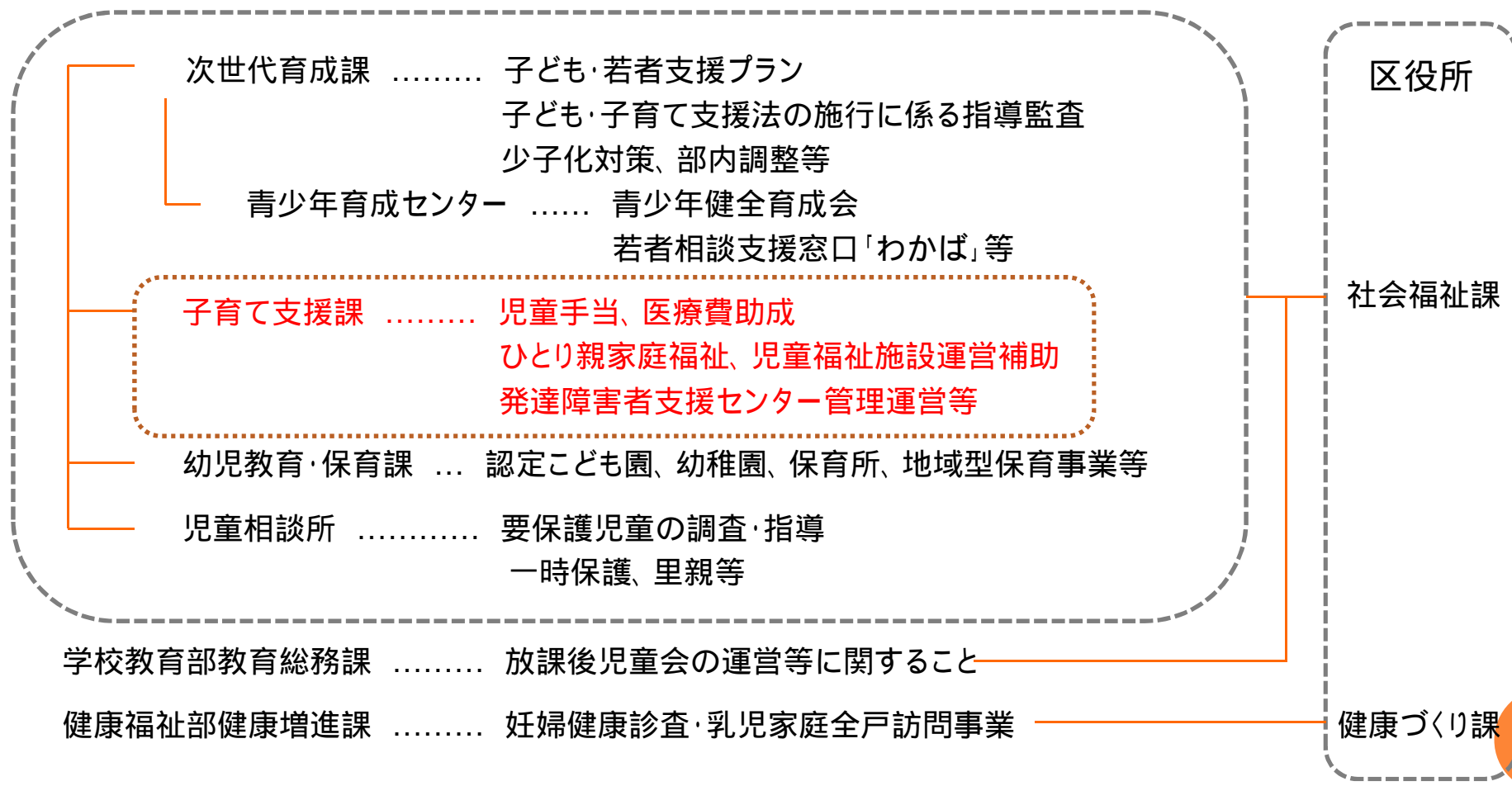
| (単位：人) | | | | | | | | |
|---------|-------|-----|-----|-------|--------|-------|-----|-------|
| | 受給者 | | | | 全部支給停止 | | | 受給資格者 |
| | 母子 | 父子 | 養育者 | 合計 | 本人所得 | 世帯所得等 | 合計 | |
| H27.4.1 | 4,719 | 216 | 16 | 4,951 | 363 | 176 | 539 | 5,490 |
| H31.4.1 | 4,358 | 168 | 15 | 4,541 | 477 | 164 | 641 | 5,182 |
| 増減 | 361 | 48 | 1 | 410 | 114 | 12 | 102 | 308 |

(福祉行政報告例第61表)

2 浜松市の組織（子育て支援担当部署）

こども家庭部

児童福祉、児童手当、青少年健全育成、私学振興など、子どもから青少年まで様々な施策を担当



3 子ども・若者支援プラン

【目的】

子ども・子育て支援や社会生活を円滑に営む上で
困難を有する若者を支援するための施策を
総合的かつ計画的に推進するため、策定するもの

【基本施策】

浜松市子ども・子育て支援事業計画(子ども・子育て支援法関係)
浜松市ひとり親家庭等自立促進計画(母子父子寡婦福祉法関係)
浜松市若者支援計画(子ども・若者育成支援推進法関係)

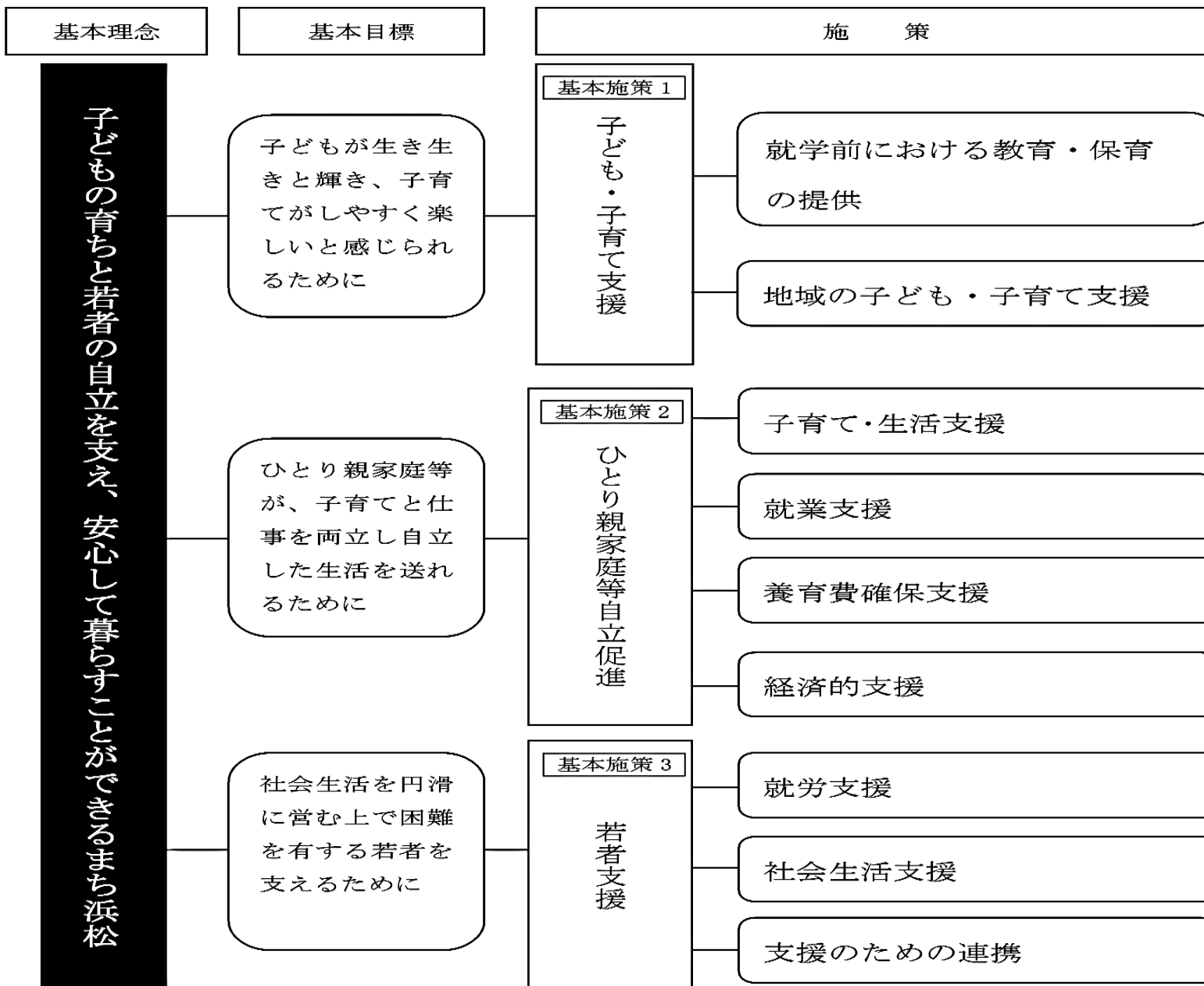
【計画期間】

5年（平成27年度～令和元年度）

次期計画は、令和2年度（令和2年度～6年度）策定予定

現在、パブリックコメント実施中

子ども・若者支援プランの体系



4 ひとり親家庭等福祉対策事業

母子家庭等就業・自立促進センター事業

自立支援プログラム策定事業

自立支援給付金（教育訓練/高等職業訓練促進給付金）

日常生活支援事業

生活向上事業・学習支援事業

高卒認定試験合格支援事業

高等職業訓練促進資金貸付事業

母子家庭等就業・自立促進センター事業

【実施方式】

静岡県・静岡市・当市による共同運営（委託）

【主な実施事業】

- ・ 就業支援事業
- ・ 就業支援講習会
- ・ 就業情報提供
- ・ 養育費等支援事業
- ・ 面会交流支援事業

静岡市・浜松市のみ

| 平成30年度実績 | | (単位：件) |
|----------|--------|--------|
| 就業関係 | 新規求職申込 | 70 |
| | 就職 | 18 |
| 各種相談 | 延べ総数 | 1,970 |
| | 養育費関係 | 78 |
| 面会交流 | 延べ相談 | 52 |
| | 延べ実施回数 | 6 |

【就業関係窓口との連携強化】

しずおかジョブステーション西部と同一フロアへ移転

静岡県労働雇用政策課・H-ワーク浜松との連携がスムーズに 12月中旬を予定

【集中的な相談体制の整備】

- ・ 児童扶養手当現況届の受付期間に、法律/生活/就業相談会を開催(8月)
- ・ 養育費に関する講習会と法律/生活/就業相談会を合同で開催(10月)

自立支援プログラム策定事業

就業にあたり、きめ細やかな支援を必要とするひとり親家庭の親に対し、個別のプログラムを策定し計画的に就業支援を行う

| 平成30年度実績 | (単位：人) |
|----------|---------|
| 計画策定 | 就業実績 延べ |
| 15 | 6 |

自立支援給付金（教育訓練/高等職業訓練促進給付金）

教育訓練給付金……資格や技能取得に関する指定講座の受講費用の6割を給付

| 平成30年度実績 | (単位：人) | | | |
|------------------|--------|----|----|-----|
| 内訳 | 受給者 | 資格 | | |
| | | 介護 | 医療 | その他 |
| 受講修了者 | 11 | 8 | 1 | 2 |
| 上記のうち他給付金 併給者 | 7 | 6 | 0 | 1 |
| ハロ-ワ-クの一般教育訓練給付金 | | | | |

高等職業訓練促進給付金…看護師等の資格を取得するため養成機関の修業期間給付

| 平成30年度実績 | (単位：人) | | |
|----------|--------|-----|------|
| 内訳 | 受給者 | 資格 | |
| | | 看護師 | 准看護師 |
| 受給者 | 20 | | |
| 上記のうち修了者 | 6 | 2 | 4 |

令和元年度から、修業最終学年の者について、月額4万円増額支給開始。

日常生活支援事業

- ・一時的に生活援助、子育て支援を行う者を得ることが困難な世帯に対し、家庭生活支援員を派遣し、生活を援助する
- ・利用者と支援員のコーディネート業務を委託により実施(コーディネーター2名)

| 平成30年度実績 | | |
|-----------|----------|------------|
| 利用件数(実件数) | 利用件数(延べ) | 家庭生活支援員登録数 |
| 7件 | 41件 | 50人 |

生活向上事業・学習支援事業

生活向上事業

ひとり親家庭等が日ごろ直面している諸問題の解決や児童の精神的安定、ひとり親家庭の孤立を防ぐため、相談や講習会などを実施

| 平成30年度実績 | | (単位:人) |
|----------|----------|-------------|
| 相談支援(延べ) | 家計管理(延べ) | 生活支援講習会(延べ) |
| 21 | 5 | 106 |

子どもの学習支援事業

ひとり親家庭や生活保護受給世帯など経済的困難を抱える家庭の子どもに対し、学習支援を実施

| 平成30年度実績 | |
|----------|--------|
| 会場数 | 利用延べ数 |
| 12会場 | 4,960人 |

12会場のうち、10会場は生活困窮世帯等の子どもの学習支援と一体的に実施

高卒認定試験合格支援事業

ひとり親家庭の親又は子の学び直しを支援するため、高等学校卒業認定試験講座の受講費の一部を支給

| 平成30年度実績 | | (単位:人) |
|----------|-----|--------|
| 入学料 | 受講料 | 受検 |
| 1 | 1 | 1 |

高等職業訓練促進資金貸付事業

高等職業訓練促進給付金の受給者に対し、養成機関への入学準備金や就職に際し、就職準備金を貸付する

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会が実施

| 平成30年度実績 | | |
|----------|----|-----------|
| 貸付種類 | 件数 | 貸付金額(円) |
| 入学準備金 | 8件 | 4,000,000 |
| 就職準備金 | 6件 | 1,200,000 |

5 その他ひとり親家庭等への支援

(1) 児童扶養手当支給事業

| 差額支給の実施状況(人) | | | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | H26.4.1 | H27.4.1 | H28.4.1 | H29.4.1 | H30.4.1 | H31.4.1 |
| 受給者総数 | 5,015 | 4,951 | 4,940 | 4,876 | 4,734 | 4,541 |
| うち公的年金受給あり | | 33 | 39 | 37 | 34 | 32 |

(2) 母子父子寡婦福祉資金の貸付

| 資金種別 | H26年度 | | | H27年度 | | | H28年度 | | | H29年度 | | | H30年度 | | |
|------|-------|---|-------------|-------|---|-------------|-------|---|-------------|-------|---|-------------|-------|---|-------------|
| | 新 | 継 | 貸付額 (千円) | 新 | 継 | 貸付額 (千円) | 新 | 継 | 貸付額 (千円) | 新 | 継 | 貸付額 (千円) | 新 | 継 | 貸付額 (千円) |
| 修学 | 4 | - | 1,890 | 4 | - | 2,148 | 5 | 4 | 4,764 | - | 9 | 4,764 | 10 | 5 | 10,233 |
| 生活 | - | - | - | 1 | - | 618 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 転宅 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 260 |
| 就学支度 | - | - | - | 3 | - | 1,570 | - | - | - | 7 | - | 2,800 | 6 | - | 3,080 |
| 合計 | 4 | | 1,890 | 8 | | 4,336 | 9 | | 4,764 | 16 | | 7,564 | 22 | | 13,573 |

(3) 母子家庭等医療費助成事業【浜松市単独】

所得税のかかっていない世帯で、20歳を迎える前日の属する月までの間にある児童を扶養しているひとり親家庭の親と子、または父母のない児童が、医療機関を受診した際の自己負担額が500円となるよう助成するもの

| 受給対象者(H31.4.1時点) | H30年度 助成額 |
|------------------|-----------|
| 8,015人 | 167,319千円 |

類似の制度は、静岡県のお市町でも実施

(4) ひとり親家庭等自立支援手当支給事業【浜松市単独】

2人以上の児童を養育する児童扶養手当受給者に対し、支給事由該当後、3年を限度に児童扶養手当の第2子以降の各加算額との合計が1万円になるよう上乗せ支給を行っている

| 支給対象者 (H31.4.1時点) | H30年度実績 | | | |
|----------------------|---------|-------------|----------|---------|
| | 区分 | 加算月額(円) | 延べ児童数(人) | 支給額(千円) |
| 321人 | 第2子 | 0～4,980 | 5,785 | 5,333 |
| | 第3子以降 | 3,980～6,990 | 2,731 | 11,464 |
| | 合計 | | 8,516 | 16,797 |

(5) 遺児等福祉手当支給事業【浜松市単独】

父母が死亡又は重度の障害状態となった場合に児童(18歳の年度末まで)の福祉向上を図るため、手当と援護金を支給している

| 平成30年度実績 | | | | | |
|----------|-------------|-----|----------|------|-------------|
| 区分 | 内容 | | 延べ児童数(人) | | 支給額 (千円) |
| | 支給時期等 | 金額 | 遺児 | 交通遺児 | |
| 福祉手当 | 遺児1につき月額1万円 | | 2,724 | 201 | 29,250 |
| 進級援護金 | 小1～中3 | 1万円 | 129 | 8 | 1,370 |
| 新入学援護金 | 小1・中1 | 3万円 | 21 | 1 | 660 |
| 修学旅行援護金 | 小6 | 3千円 | 22 | 0 | 66 |
| | 中3 | 5千円 | 11 | 2 | 65 |
| 中学卒業援護金 | 中学卒業時 | 5万円 | 11 | 1 | 600 |
| 合計 | | | 2,918 | 213 | 32,011 |

まとめ（現状・課題・意見・要望など）

母子家庭等就業・自立促進センター事業

- ・弁護士による無料法律相談も実施しているが、「養育費」に関する相談が最も多い。

【課題】個々間の問題のため、自治体による直接折衝・干渉は極めて難しく、啓発・支援までが限度

養育費の「確実」な確保までの支援は難しい

自立支援プログラム策定事業・・・【意見】伴走型の支援であり、今後も有用である

自立支援給付金（教育訓練/高等職業訓練促進給付金）

【意見】就業や収入の増に繋がるものであり、今後も有用である

制度改正(修学最終学年の給付額増)は、資格取得や就業への意欲を高めることにも繋がる

日常生活支援事業

【課題】確実な制度運用ができない（支援員と利用者のマッチングが成立しないケース）

【要望】支援員の確保増に繋がられるよう、報酬基準額の増・支援員養成に関する助成等

生活向上事業・学習支援事業

【意見】(生活向上)相談する相手がないひとり親家庭の孤立の防止に繋がり、有用である

【課題】(学習支援)支援する側(ボランティア)の確保

高卒認定試験合格支援事業・・・【意見】利用は少ないが、今後も必要である

高等職業訓練促進資金貸付事業

【意見】高等職業訓練促進給付金の利用促進に繋がり、有用である

その他

- ・児童扶養手当支給事業・・・【意見】給付回数の見直しにより、生計の安定に繋がると考える

母子父子寡婦福祉資金の貸付

【現状】子の修学資金の貸付相談時に、他制度(文科省-修学支援制度)についても説明するよう努めている

【意見】子の修学資金の貸付相談時に、さらに他制度(文科省-修学支援制度)も含め、周知徹底や啓発を図るべきと考える